

法人会ニュース

# そろそろ

第15号

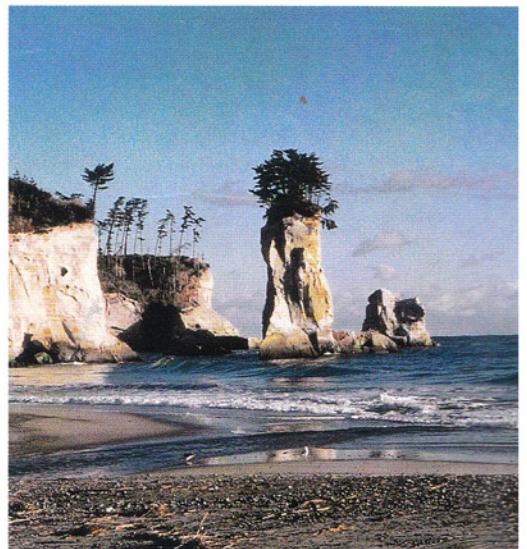
発行所  
相馬市中村字桜ヶ丘71  
(社)相双法人会  
発行人  
酒井利治  
編集委員会  
発行日  
平成13年1月12日



支部自慢コーナー

⑮ 富岡町

## 小浜の子安観音堂



毎号の表紙は、各支部の自慢の風景・祭り等を掲載し、ご紹介します。

富岡町小浜七三八、富岡川河口北岸に在し、紺碧の大海原と老松の緑に建立、子安観音堂は、八〇六年北相宗の高僧徳一の開基として知られ、浜通り屈指の霊場である。

本尊は子安観世音菩薩座像で、世の衆生の救いを求める音声を観じるとただちに救済するという意で、子をあやす程よくあしらうといわれ、遠方からの信仰も篤く、今でも懐任すると安産祈願に緋や武者絵の衣の枕を受け妊娠が身につける安産の風習が残る。祭礼は春秋の彼岸に村人がご馳走をもち寄り彼岸講を行う。

◆資料提供 富岡町在住 山田 広 先生より



# 謹賀新世纪

心に榮養を

” 眞の繁榮は良き文化から “



(社)相双法人会会長 酒井利治

# 2001

記念すべき新世纪の幕開けとなる新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

新年にあたり、今世紀こそは「誠実は信用を・努力は繁榮を・熱意は發展を・創造は飛躍を・質素は安定を」が通用する世紀であつて欲しいと心から念じております。

顧みれば、二十世紀末は、常識でも考えられない少年の凶悪犯罪・警察の不祥事・教育現場の崩壊・医療ミス・政治の迷走・企業の破綻と再編・一流企業の不祥事・・・等々、安全神話が一気に崩れ、組織や制度の崩壊が次々と表面化した「信頼崩壊」の世紀末でした。これは、戦後日本の失敗は、心に榮養を与えることを忘れたことにあると言われていると思います。

”物で榮え、心で滅ぶ日本“を深く反省し、先人達が営々と築き育んできた日本ならではの文化を、今こそ原点に立つて考え、法人会が果たすべき役割を十分

認識し、新しい世紀を生きる指針づくりのため、直ちに行動することが必要であると考えます。

法人会の基本的指針は「よき経営者を目指すものの団体」として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業経営および社会の健全な發展に貢献することとなつており、社団法人相双法人会としても、「企業は人なり」後継者育成を最重点と考え、会員増強に努め、より一層の組織強化を図り「心に榮養を、眞の繁榮は良き文化から」をスローガンに、英知と情熱を以て邁進してまいりたいと思つております。

以上、年頭にあたり所懐の一端を申し述べましたが、本年も相双地域十支部が一丸となつて、地域に密着した幅広い貢献活動を通じその使命達成のため取り組んで参りたいと存じますので、役員・会員の皆様の一層のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

## 本年もよろしくお願ひ致します。

### ◆常任理事

阿部 多美	荒井 裕一	只野 一夫	荒野 裕一	若盛 孝之	庄司 正一	鈴木 昌一	渋谷 洋子	濱田 幸政	吉田 和夫	泉田 隆夫	富田 俊明	神谷 直隆	藤沢 徳義	坂本 行生
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

### ◆理事

佐川 助勲	高橋 隆	伊藤 博	遠藤 清	鈴木 重	松永 雄	塩谷 美津	伊東 利	北原 治夫	田中 清一	鈴木 俊一	吉田 秀郎	太田 宏	大田 純	磯町 隆	関本 征	名嘉 幸	坂本 昭	秋元 昭	猪狩 廣	監事	関代 豊
-------	------	------	------	------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	----	------





相馬税務署長  
菊地岩彦

平成十三年の年頭に当たり、相  
双法人会の皆様方に謹んで新年の  
お祝いを申し上げます。

昨年、法人会活動を振り返りま  
すと、会員増強のための「入会募  
集キャンペーン」を役員皆様が一  
丸となり実施した結果、新規加入  
者が多数あり、新会員事業所税務  
懇談会を税務署において三回実施  
することができるとともに、充実した  
一年であったと思います。

安定した法人会活動を支えるの  
は組織力と言われておりますので  
今後とも会員増強への取り組み方  
についてお願いをいたします。

さて、わが税務の職場において  
は一月六日の中央省庁等の改革に  
伴い税務署の所管が大蔵省から財  
務省へと変更になり、新世紀を迎  
えるに当り新たな気持ちでスタ  
ートをきったところです。

税務行政を取り巻く環境は、  
質・量両面にわたって一段と厳し  
さを増しておりますが、私ども税

務に携わる者として、

①透明性のある均質な行政、②適  
正公平な課税を実施するためのバ  
ランスのとれた行政、③世の中の  
動きに敏感な行政の遂行、の三点  
に留意しながら、納税者の方のニ  
ーズに合った行政サービスを提供  
し、適正・公平に税務行政を遂行  
していくことが、更なる国民の信  
頼を深めていくものと考えており  
ます。

ところで、近年消費税の滞納が  
増えてきている状況で、私どもと  
いたしましては、滞納発生の未然  
防止に努めるとともに、厳正・的  
確な滞納整理に署を挙げて取り組  
んでいるところです。

法人会の皆様にもこうした点を  
踏まえ、期限内納付についても是  
非とも御協力いただきたいと思  
います。

最後になりましたが、新しい年  
が、相双法人会の益々の御発展と  
会員の皆様の御繁栄の年となりま  
すよう、心から祈念いたしました  
新年の御挨拶いたします。



相馬支部長  
桜井文博

いよいよ二十一世紀の幕が開け  
た訳でございますが、振り返れば二  
十世紀の幕切れは金融ビッグパー  
ンに代表される様に、全ての社会  
構造そのものに大変革が求められ  
今まで築き上げて来た社会構造シ  
ステムが根底から否定されたよう  
に感じた人達が沢山おられたので  
はないでしょうか。

ただ言えることは、時代が変わ  
る時とは穏やかに目に見える早さ  
で変わるのではなく、気が付か  
ないうち動き出し、突然目の前に  
出現した時には、変貌を遂げてい  
るものなのだと思感させられまし  
た。

いずれにしても、今までの  
実績・経験・慣例などにとらわれ  
ていては、新しい社会構造に組  
ながらの事業展開は望めないと思  
われますので、まさに新世紀を迎  
えた今こそ、本当の意味での自分  
自身のリストラ（構造改革）をし  
て行きたいと思っております。

法人会も昨年は、組織拡大にみ

んなで汗を流してまいりましたが、  
本年はさらに組織拡充にも取り組  
んでまいりたいと思っております  
ので、みなさまよろしくお願い致  
します。



新地支部長  
角田義正

新春の年頭にあたり、謹んでご  
祝詞を申し上げます。

素晴らしい記録と記憶を残した  
シドニーオリンピック。輝かしい  
大舞台で個々人の実力を遺憾なく  
発揮出来るということは、陰での  
努力は如何ばかりなものか、想像  
を絶するものでしょう。各選手の  
ファイティングスピリットを見習  
わなければと感じられた方も多  
いのではないのでしょうか。

さて、経済成長率がプラスに転  
じ、企業設備投資も上向き、二  
十一世紀を迎え明るい兆しが見え  
て参りましたが、失業率は依然と  
して高水準であります。日本の経  
済を支えてきた中小企業にとって  
は、まだまだ厳しい状況が続いて  
いるのが現実です。法人会の活動  
を通じて行財政改革の一端を担う



経営者として、国や社会に対する責も一層重くなり、「自助努力」を推し進めていかなければならないと考えております。

今一月には中央省庁の再編が行われますが、少しでも景気回復の起爆剤となるよう、期待しております。

会員の皆様のご健勝をお祈り致しまして、ご挨拶申し上げます。



鹿島支部長  
竹林源網

二十一世紀最初の新春を迎えお慶び申し上げます。

昨年中は、会員並びに役職員皆様の御努力に依り大過なく全事業が出来ましたことに御礼申し上げます。ありがとうございます。

ご承知の通り、平成十三年度一般会計予算は、八十二兆六千五百億余円と前年度当初予算に比べマインス二・七％で、これは六年ぶりの減額値だそうです。それにひきかえ法人税収の方は四・三％の増加を見込めそうで昨年までの混乱した景気回復も、今年こそ大い

に期待したいものです。

当鹿島支部に於いては現在九十一社が在籍し、加入率五十七％に滞り、より多くの事業所と交流・親睦を深め、県平均六十％台に到達すべく役職員一丸となって会員増強に努めて参りたいと思っております。

昨年は支部視察研修として、『県立会津大学・コンピュータ理工学部及びマルチメディアセンター』を視察して参りました。担当職員の説明や構内施設等を見学し、情報化時代にふさわしい有意義な研修でありました。今年度も多数の参加を募って、先進企業視察、行政懇談会や各種講習会等の事業計画を掲げて、更なる発展と会員相互の親睦を計りたいと思っております。

最後になりましたが、会員並びに役職員皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ新春のご挨拶とさせていただきます。



原町支部長  
高野建夫

新年明けましておめでとうございませう。

昨年の賀状には「躍進の二〇〇年のスタートの時」と書きましたが、内外共に大変な年となつてしまひ、前途に大きな不安をかえながら何とか過ごすことができた。原町支部も、皆様の並々ならぬ御協力によつて二十三名の会員増強をみて、更に、年末には、第二回の増強キャンペーンを実施いたしてあります。特に市内の税理士の先生には特段の御理解をいただいたことに感謝申し上げます。

明けて二〇〇一年は、今まで以上に何をやるということよりも例年以上に複雑化・多様化する税制の中で、法人会の活動の原点に立ち返り本会の活動への理解を高めて、更には税理士の先生方と手をとり合つて会員増強を推進し、足元を固める年と考えております。

入会歓奨の席に「法人会に入つて何がプラスになんだ」というこの声、永遠のテーマではありませんが、物心共にプラスにする気迫

だけは捨てずに、一歩一歩前進あるのみ!!

よろしくお願いいたします。



飯館支部長  
高橋英明

新年あけまして、おめでとうございませう。会員の皆様には、つづがなく新年を迎えられた事と、お慶び申し上げます。

さて、政府の経済見通しでは、景気はおだやかに回復しているとは言つておりますが、現実には、大変な厳しさで、遠く人事の様に感じていた倒産が、近くで起きています。これが現実です。

この様な中で、経営者としての責任が特に大きくなって来ています。

当支部の今年度の目標としては、会員の増強はもちろん「IT革命による将来の方向性」について、経営者向けの勉強会を行なつていきたいと思つております。

最後に会員各社の増々の御隆盛と御多幸を願ひ年頭のあいさつと致します。







小高支部長  
菅野萬正

いよいよ二〇〇一年。二十一世紀に入った。同時に私も七十才を迎えた。七十才迄も生きるの昔からめずらしいと云う事で古来稀れなりの言葉があるのだそうだが、現代は人生八十年と云われているのでめずらしい事ではないが、ただ元気でしかも体力も能力も若い者と変わらず一緒に活動出来るのが古来稀れなりのかなと思う。

この新しい世紀のスタートラインに立つて考えて見た。

先ず誰よりも元気で、誰よりも多くの趣味を持ち、誰よりも幸せに生きて行こうと思います。

誰よりも元気で、朝五時に店を開店する。六号線道沿立のSSでは一番早く開店するのを誇りにする(早起きは三万の得)三文でなく、今は三万これは元気でないと不可能である。

多趣味を持つ、一つはゴルフ、二つ目は尺八、三つ目はピアノである。ゴルフは月五回を目標にして毎日練習に励む。過日家内が四国八十八ヶ所巡りをして来た。私

は県は勿論隣りの県のゴルフ場を含めて八十八ヶ所のゴルフ巡つてみたり、尺八とピアノは自己流で三十曲位マスターする様に努力している。

以上の趣味が完達したらきつと最高の幸せだと思っている。



浪江支部長  
熊川喜八郎

明けましておめでとうございませう。昨年は会員皆様のご協力によりまして、それぞれの事業計画を完全に実行出来た様に思います。ありがとうございます。

年頭にあたり、今年も国税につきましても、地方税においても新税等に波乱含みの年に成ることも予想されますので、それを乗り切っていくにも各会員の協力が特に大切かと思われまます。

つきましては当会も一人でも多くの会員参加、つまり新会員の増強を図り多くの方々の知恵を出しあつて対処して行けば、法人会に加入して良かったと、安心して事業を営むことが出来る一年に成ることを念じ年頭の挨拶にさせてい

たできます。



双葉支部長  
松本定雄

明けまして、おめでとうございませう。

私達を取り巻く厳しい経済環境の二千年ミレニアムも終りを告げ、輝かしい二十一世紀の幕開けを迎えました。今年こそは何かと良い年になるよう強く希望するものがあります。それには先ずしっかりと積極的な行動を起こすことが肝要かと思ひます。法人会の支部活動も会員の皆様が入り込んで良かつたと満足するような事業活動を展開していきたいものです。なお昨年引き続き会員増強・双葉海水浴場の清掃・支部親善ゴルフ大会・新春後援会と新年会、大型保障制度への加入促進などを手掛けていきたいと思ひます。

今年も会員の皆様、特段のご協力をよろしくお願い申し上げます。



大熊支部長  
根本充春

新年明けましておめでとうございませう。皆様には、新たな世紀の幕開けを迎え、何かが変わるまた変わってほしいと願ひながら新年を迎えにいられたことと存じます。

昨年を振り返り大熊支部は、何も出来なかつた一年であり、大変心苦しい思いでありました。

活動の低下は、経済活動の低迷により、それぞれ会員が自分の事に精一杯であり、組織に対する心のゆとりを無くしていることも大きな要因でもありました。

今年も、新しい世紀を迎えるに当たり、会員が「社会に生きる法人」としての役割を再認識し、新たな気持ちで活動を進めて行きたいと思ひます。

また、厚生委員会の事業につきましては、会員皆様のご協力、ご支援を賜り、目標達成に近づく事が出来ましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。

この一年が会員皆様に幸多い一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。





富岡支部長  
石川昭久

### 「健康について」

三年ほど前の夏、いつもの様に牛乳とトーストの朝食をとった後、家内から、いわきの病院に行くと言われ、遮二無二車に乗せられて急行する。

医師は私の様子を診ただけで脳梗塞と判断、北茨城市立病院脳神経外科O先生の処に行くことを指示され入院。後で聞いた処では口にしまりがない、口角が下がっていたとのこと。

CTスキャン・MRI等々、二四時間持続点滴を十一日間施され、小康を得ていわきの病院に帰り約四十日間入院後退院。全く後遺症なく今に至る。

古稀を過ぎ、突然くる病気の恐ろしさを痛感する。

WHO（世界保健機構）「健康と云うことは病気でないと云うだけでなく、なにごとに対しても前向きな姿勢で物事に取り組めるような精神および肉体かつ社会的適応の状態を云う。」  
素晴らしく適切な定義づけ。

病から快復した身にはひときわ心に響くものがあり、ここに引用し筆を擱きます。



青年部会長  
半谷嘉津彦

明けまして、おめでとうござい  
ます。

旧年中は法人会全国青年の集い「福島大会」、又、社会貢献事業の一環として発刊した情報誌「相双見聞録」等に関して、多大なるご理解、ご協力を頂いた事に深く御礼申し上げます。

さて、全国青年の集いの部会長サミットにおいても議論された税制、その内でも最も問題とされたのは少子化による税のありかたでした。一事が万事、我々を取巻く税の問題は個人的にも又、企業においても取り組んでいかざるを得ない事だと思えます。そこら辺りを本年度の課題とし、社会貢献も含めた青年部会の活動をしてゆきたいと希望しています。

最後に、皆様にとって今年こそ良い年でありますようお願いしまして、ごあいさついたします。



女性部会  
副部会長  
椎谷節子

明けましておめでとうござい  
ます。会員の皆様には、健やかな新年をお迎えの事と、お慶び申し上げます。

昨年は、渋谷部会長のご病氣により、突然副部会長が代理を務める事になりましたが、役員始め、会員の皆様のご協力により、何とか務めさせて頂いております。特に昨年八月二十四日の講演会では、強烈な印象を残した「上床敬子」さんに負けない程、各役員の方々が、自分らしく、自発的に仕事を  
して下さいました事は、頭の下がる思いでした。

事業をこなす毎に結果がでて、今後の会員増強活動にとり、大きな足掛りであると考えております。どうぞ多くの会員の皆様が、「参加」を通して会の盛り上がりにご協力下さいませ、よろしくお願ひ申し上げます。新年のごあいさつ  
といたします。



大同生命  
原町営業所所長  
井上 諭

明けましておめでとうござい  
ます。昨年中はお世話になり誠にありがとうございました。本年も、ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

二十一世紀初年の本年は、当社が受託させて頂いている大型総合保障制度発足三十周年の節目の年にも当たります。長い歴史を持つ当制度は、役員・会員の皆様のご協力を得て推進させて頂いております。また、ご要望・ご意見を頂きながら制度内容の拡充を実施し、現在に至っております。改めて感謝申し上げます。

最近、我々生命保険業界は、冬の時代と呼ばれておりますが、当社は信頼度ナンバーワンを目指しており、平成十四年四月に現在の相互会社組織から株式会社化・上場の検討を進めております。金融新時代にふさわしい盤石な経営基盤の確立が目標であり、よりよい商品・サービスをご提供する体制を整えているところであります。当営業所につきましても、日頃からお世話になっております推進員を通じて、会員の皆様にも更にお役に立つよう、今年一年活動を展開していく所存でございますので、何卒、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



税務署からのお知らせ

確定申告書や

収支内訳書は

自分で書いて

郵送で!!



今年も、申告所得税・個人事業者の消費税の確定申告の時期がやってきました。

平成12年分の申告所得税の確定申告は、2月16日(金)から3月15日(木)まで、消費税の確定申告は4月2日(月)までです。

3月に入りますと相談窓口が大変込み合いますので、相談はできるだけ早めにお願います。

税務署では、「納税者が自ら所得金額や税額を計算し、それに基づいて申告し納税する」という申告納税制度の趣旨から、「確定申告書等は自分で書くこと」を推進しております。

そのため確定申告期間中、相談会場においても納税者の皆様が自分で作成していただくための相談体制をとっておりますので、ご理解をお願いいたします。なお、詳細については下記のとおりです。

平成12年分所得税の確定申告会場案内

申告会場	期間	対象の市町村	相談時間
相馬税務署	2月16日～3月15日	全市町村	9時から5時まで
富岡町総合福祉センター	2月20日～2月23日	富岡町・楢葉町 大熊町・広野町 川内村	9時30分から 4時まで (注)
浪江町役場	2月26日～3月1日	浪江町・双葉町 葛尾村・小高町	9時30分から 4時まで (注)

(注) 土、日、祝祭日を除く

富岡、浪江会場の初日は10時から、最終日は3時までとなっております。

詳しくは、相馬税務署個人課税第一部門 (0244-36-3113) へお問い合わせください。

①申告書や収支内訳書は、「所得税の確定申告の手引き」や「収支内訳書の書きかた」、前年分の控えなどを参考に、ご自分で記載してください。

②相談会場においても、ご自分で申告書を作成していただくことになりま。

③ご相談を希望される場合にも、できるだけご自分で記載した上でおいで下さい。

相馬税務署に税務相談室直通の  
税金相談専用電話  
0244-36-3440  
を設置しました。

◆休日に相談したい方へ

○税金の疑問にコンピューターが答える「タックスアンサー」をご利用ください。毎日24時間ご利用いただけます。

○電話・FAXでご利用の場合は、コード表が必要ですが、コード表は税務署・市町村の窓口にて備えてあります。なお、コード表はFAXでも入手できますので必要な方は☎024・263・2299(仙台)へおかけください。

○インターネットでの利用が便利です。ホームページアドレス  
<http://www.taxanser.nta.go.jp>  
携帯電話でもご利用になれます。

所得税・消費税の納税は口座振替で!!

申告所得税は  
3月15日(木)  
が納税の期限です。

振替納税を利用されますと

4月18日(水)  
に振替で納税されます。

消費税は  
4月2日(月)  
が納税の期限です。

振替納税を利用されますと

4月26日(木)  
に振替で納税されます。

○相談は、匿名でもお受けしておりますので、気軽にご利用下さい。

○相談時間は、平日の午前九時から正午までと、午後一時から五時までです。

○相談時間までの電話料金は自己負担となります。

○相談は、匿名でもお受けしておりますので、気軽にご利用下さい。





観音様から海を見るとー  
「仏浜永遠にかわらぬ紺碧の

波とどろき

その如く

若き胸うち

真を追い

高鳴り止め

観音様から山を見るとー  
「阿武隈の山脈高く

白き雲

光ただよい

学び舎の

明るき庭に

あふるるや

青春の意気

と歌われているのを想い出しました。

ー草野心平先生作曲の校歌よりー



子安観音像

①自然(太陽・水・土など)を大切に

②「まごころ」「報恩」などの人の心を大切に

③みんな幸せに生きるんですよ  
観音様がささやいている気がしました。

※「まごころ」「報恩」と刻んだ石碑は現在富岡第一小学校・富岡第一中学校の玄関におかれております。

この石には東京大学に縁りのある故渡辺雅弘様がふるさとの富岡から多くの方が東京大学に入学できるようにという願いがこめられております。

また、この石は東京大学の地震研究所の基礎石だったのを譲り受けられたそうです。

## 編集後記

◆二十一世紀最初の初売り二日は快晴、このままの勢いで行くのかと思ったら三日からの大雪で途端にスロウダウン! どうかこれが輝かしい二十一世紀の占いはなりませんように!

それにしても今年は雪が多い気がいたします。雪国の人たちは大変だとは思いますが、寒い冬は、地球温暖化の脅威を言われ続けてきた私達にはある意味ではホッとする面があることも事実です。

◆法人会は「税」と密接な関わりがあります。「初売り」はミクロナ切り口ですが、マクロナ見方も必要に!

文芸春秋編「日本の論点」は、経済再生、金融システム、税制改革など現在日本が直面している問題に対して異なった論客が書き下ろしているおもしろい本です。ご一読いかがでしょうか。

◆法人会「ニュース」「そうそう」をよりタイムリーな情報誌にと考えてまいりましたが、締め切りに追われてばかりです。二十一世紀はまずここから変革!